

## 支店と地域とのつながりづくり 支店広報紙コンクール



JA広島市では、支店と組合員や地域のみなさまをつなぐコミュニケーションツールとして、全支店で毎月支店広報紙を発行しています。発行意欲の増進を図るため、毎年支店広報紙コンクールを実施しており、令和2年度は豊平・久保角支店の支店広報紙が最優秀賞を受賞しました。優秀賞は芸北支店、優良賞は可部支店、また審査員特別賞は東雲・青崎支店が受賞。審査後、全支店の支店広報紙を本店4階ロビーに約1ヵ月掲示し来訪者に楽しんでもらうとともに、研修等で本店を訪れた職員も他の支店の広報紙を観覧し、自支店の広報紙の向上の参考としました。各支店の広報紙は4月からJA広島市のホームページでも月替りで紹介しています。



## 伴支店職員も参加して地域の登山道へ植樹 火山山系 令和の植樹大作戦

安佐南区の伴・大塚コミュニティ推進協議会は、まちづくりの一環として「火山山系 令和の植樹大作戦」を進めています。地域にそびえる「火山山系」の登山道にサクラとモミジを5年間で各千本植える活動で、2月に第1回、3月に第2回の植樹が行われました。伴支店も協力団体として名を連ね、職員も植樹に参加しました。実行委員会の代表でJA組合員の上垣内保之さんは「地域の宝である火山を、季節を感じられる名所として、多くの方に訪れてもらいたい」と活動の意義を話します。



## 伝統野菜「祇園パセリ」 生産者らアレンジレシピに挑戦

安佐南区の祇園町農事研究会パセリ部会は4月27日、野菜ソムリエ上級プロの花井綾美さんを講師に「祇園パセリ」を使った料理教室を祇園支店で開催。生産者やレディースクラブ会員ら約11名が参加し、パセリカレーやパセリスムージーなどのレシピを学び、新型コロナウイルス感染防止のため、調理した食品は各自で自宅に持ち帰りました。同部会の木下登会長は「祇園パセリが食される機会を増やしたい」と消費拡大を期待します。今後も「祇園パセリ」の料理教室を開催していく予定で、講師の花井さんは「地域の宝である祇園パセリの良さを発信したい」と意気込みます。



## バケツ稲づくりに初チャレンジ 中山学区子ども会



東区の中山学区子ども会と青少年中山地区青少年健全育成連絡協議会は4月18日、中山福祉センターでJAの向井健営農指導員からバケツ稲作りの方法を学び、バケツに肥料と土を入れて種もみをまくための土づくりをしました。参加した子どもたちは、自宅で収穫するまで観察しながらの稲作に加えて、地元生産者の高田義賢さん・園江さんご夫婦の田んぼでも、5月末に田植えをし、稲刈りなども行っていく予定です。バケツ稲&地域体験の「ダブル米づくり」をすることで米の大切さをしっかり学んでもらいたいという、初めての試みです。

